

ペンの持ち方がおかしい・・・つづき

前回の記事の続編です。

ペンの持ち方が気になるようになったきっかけは、『履歴書の添削』です。私は立場上、毎年数百枚もの履歴書を添削します。

あくまでも感覚的なものですが、“生徒の字が、年々下手になっている”ように感じていました。

何でもパソコンで書くようになり、文字を書く機会がなくなっているからなのかと思っていました。もし、そうであるなら、数多く練習させるしかないと考え、生徒には「早い時期から履歴書の練習をするように」「美文字を書くよう意識するように」と指導してきました。



毎年、早い学年では2年生から履歴書の練習を始めます。今年の3年生も就職希望者が履歴書の練習を本格化しました（もうすでに何度か書いていると思います）。しかし、何度も練習しているわりに、一向に上達しません（あるいは上達のスピードが遅い・・・）。原因は何なのだろうか？



ある日、書き直しになった生徒を直接進路指導室に呼び出して、私の目の前で書かせていると、**とんでもないペンの持ち方をしている**ことに気づきました。その生徒は“ペンを持つ”ではなくて“**ペンを握る**”というような状態でした。

尋ねると小学生の頃から“この持ち方だった”そうです。私の前でトメ・ハネ・ハライから始まり、文字の大きさ、全体のバランス、筆圧など、一文字一文字丁寧に書いているのですが、決して“上手な字”にはなりませんでした。

最後にたどり着いた結論は、「この“**ペンの持ち方**”だからこういう風にしか書けない」んだということでした。

その生徒は何度も書き直した結果、文字自体は相変わらずでしたが、誤字や脱字もなく、志望動機もきちんと書けていたので、とりあえず企業に提出することにしましたが・・・。

その日がきっかけで、授業中や試験中にみんなの“ペンの持ち方”を観察し、持ち方と文字の関係性を調査するようになったのです（少しオーバーですね・・・）。

その結果**ペンの持ち方がヘンな人が意外**といること、そして**ペンの持ち方がヘンな人は、ことごとく文字が美しくない**ことが判明しました。

困りましたね・・・。3年生は大丈夫ですかね・・・。前回も書きましたが、履歴書をはじめとして、これから多くの書類を書くことになります。先方が最初に得る情報は応募書類です。**下手な字は“第一印象が悪い”**ですよ・・・。



本の紹介 ～ 字は1日でうまくなる?! ～

ひと頃ほどではありませんが、『美文字』関連の本は相変わらず人気のようで、書店に行けば数多くの“美文字本“があります。

いろいろと立ち読み(比較検討ですね)したところ、お値段、内容、そして何より“気軽にできる”という観点でおすすめしたいのが次の本です。

正しい持ち方をして、手・指・手首の動かし方をマスターすれば、文字が上手くなるのです。こんな簡単なことはありませんよね。クラスに一冊いかがでしょう？だまされたと思って試してみる価値はあると思います。



「字は1日でうまくなる！」

持ち方で字はみるみるきれいになる 竹内みや子著

広告文

字がうまくなるためには、手・指・手首の動きが決め手となります。その動きを徹底解説！1日で格段に上達するメソッドです。

内 容

持ち方を変えれば字は劇的にうまくなります！親指で人さし指をグイグイと押す持ち方の人などにオススメです！

字がうまくなるための秘訣は、手・指・手首の動きが決め手となります。その動きを徹底解説した一冊です。

1. 手のひらの「パー・グー」の動きを使って縦線を引く。
2. 「シュッシュッ」と手を横に動かして横線を引く。
3. 「クルクル」と手首と指を使って円を書く。

以上3つの基本の動きがきれいな字が書ける決め手です。よくある「お手本をなぞって書く」だけのメソッドではありません。横線・縦線・円を自在に書けるようになれば、どんな文字も上手にかけるのです。

目 次

1 章 持ち方を変えて上手な字を書く！（正しい持ち方で字はうまくなる）

手の「パー・グー」の動きが大切！横の線はシュッシュッ 円系統の線はクルクル 右胸前で書くことを習慣づけよう！筆記具別・正しい持ち方

2 章 「筆圧」に変化をつけて、字をもっときれいにする！（基本の縦線を練習する）

指の運動をしてみる！横方向の線の練習をしてみよう！右まわし、左まわしを練習する！**筆記具に合った“手の運動”を行えば、字はきれいになる！**

3 章 ひらがなと漢字を実際に書いてみる！

4 章 いろいろなあいさつ状の書き方